



サルビア

令和3年10月8日 第62号

持久走記録会が変わります。

昨年度より学校の教科指導は、文部科学省発行の新しい小学校学習指導要領に基づいて行われています。「全ての児童が楽しく、安心して運動に取り組むことができる」「体を動かす楽しさや心地よさを味わい、様々な基本的な体の動きを身に付けるようにする」等が体育の基本的な考え方となりました。その中の「体作りの運動」において、どの学年も「無理のない速さで〇〇分走る（※）こと」となっています。

※【参考】 小学校学習指導要解説【体育編】

第1学年及び第2学年の内容

〔一定の速さでのかけ足〕無理のない速さでかけ足を2～3分程度続けること

第3学年及び第4学年の内容

〔一定の速さでのかけ足〕無理のない速さでかけ足を3～4分程度続けること

第5学年及び第6学年の内容

〔時間やコースを決めて行う全身運動〕

無理のない速さで5～6分程度の持久走を続けること

これを受けて、多くの小中学校ではこれまでのような順位を競う「持久走大会」ではなく、体育の授業の中で「無理のない速さで〇〇分走る」という「時間走」を実施する等の変更を行っています。本校では、昨年度より、持久走大会を「持久走記録会」として実施しています。「以前の自分よりどれだけ走れるようになったか」ということを大切に個人の伸びを評価する記録会です。過度な競争意識ではなく、自分の心身と相談しながら見つけた課題に取り組む姿を参観していただきたいと考えていますが、更に事故防止や感染症対策など見直しが必要です。

コロナ禍で修学旅行・校外学習等各行事の日程延期が重なったため、記録会の日程や実施方法等詳細は現在検討中です。距離などの見直しを図り、決まり次第お知らせいたします。記録賞等、子どもたちが目標をもって取り組むことができるよう考えて参ります。お時間をいただき申し分けありません。

今までどおりの記録会の開催の難しさをご理解いただきたくお願い申し上げます。

また、来年度以降は「持久走記録会」ではなく、「時間走」での実施を検討しています。併せてご承知おきください。

子どもたちも、保護者の皆様も昨夜の地震には驚いたのではないのでしょうか。私もスマホから発せられたアラームに緊張し、身構えしました。いざというときに、落ち着いて命を守る行動がとれるように、これからも考えていかなければとあらためて感じた夜でした。



子どもたちも、保護者の皆様も昨夜の地震には驚いたのではないのでしょうか。私もスマホから発せられたアラームに緊張し、身構えました。いざというときに、落ち着いて命を守る行動がとれるように、これからも考えていかなければとあらためて感じた夜でした。